

学力向上通信

ワン ツー スリー

北小わかるステップ1・2・3

【羽生北小学校 平成31年4月発行】

ご入学・進級おめでとうございます



平成31年度がスタートし、もうすぐ新元号「令和」へと時代が移り変わろうとしています。各学年の学習も本格的にスタートし、11日には4・5・6年生を対象とした県学力・学習状況調査が行われ、18日は6年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。

本校では引き続き、埼玉県の「チーム埼玉」学力向上パワーアップ事業の重点校として、今年度は国語の学習に力を入れ、確かな学力を身につけるための取組を行ってまいります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



《国語の学力を高めるための本校での取り組み》

- ① 音読（毎日の宿題に取り入れることで、すらすらと読む力を鍛える）
- ② 素読（朝の会や授業で行い、読む力や頭の回転を良くすることができる）
- ③ 読書貯金（読書を推奨することで、本に触れる機会を増やし、語彙力を増やす）
- ④ αドリル（朝の業前活動「じっくりタイム」で文章問題に取り組むことで、読解力を高める）
- ⑤ 作文・日記（児童の書く力を高める）

※この他にも様々な活動を取り入れ、子どもの国語力を高める活動を行う予定です。

《筆箱の中身について》

- えんぴつ5本（形は三角や六角の正しい持ち方がしやすいえんぴつの方が良い。）
- 赤えんぴつ1本（赤えんぴつ1本、青えんぴつ1本でも良い。）
- 消しゴム1個（大きすぎたり、消しにくいものは使いません。）
- 定規1本（折りたたみでない定規を使いましょう。）
- マイネーム（油性ペン）1本
- ※コンパス、分度器、三角定規（算数の学習に応じて）
- ※カラーペン（図工などで必要なときのみ）

学習に不必要な物
は入れません！



宿題について



漢字ノートや計算ドリルのノート、マイマイノートなどの宿題は、保護者の方の見守りが大切です。確認後、捺印をお願いします。

北小「授業の約束」

- 授業が始まる時刻を守ります。
（移動教室があるときは、少し早めに移動して、時間に始められるようにしましょう。）
- 学習の道具をきちんとそろえて授業にのぞみます。
（教科書、ノート、筆箱だけでなく、その教科で使用
する用具や材料も忘れません。）
- 立腰の姿勢で、集中して授業にのぞみます。
- 発表するときは黙って真すぐにひじを伸ばして手を挙げる。指されたら「はい。」と元気に返事をして立ちます。
- 発表はクラスみんなに聞こえる声ではっきりと伝えます。
- 「いです」「～ます。」を必ずつけて発表します。
（授業の時だけでなく、日頃から使えるようにしておきましょう。）

《北小 学習規律の合言葉》

た ひ で
「田 は 日照り」

タイム着席
「はい」
ひじをのばす
「です」「～ます」
りつように

合言葉をもとに学習規律をしっかりと整えることで、学習に集中して取り組むことができます。ぜひ、御家庭でも取り入れてみてください。



北小わかるステップ1・2・3

羽生北小学校 令和2年2月26日発行

国語力を高めるためには…

2月も終わり、本年度も残りがわずかとなってきました。12月に行われた各学年の総合学力調査も返却され、つまづきが見られたところを中心にこれからも復習を行っていきます。

それとあわせて、ご家庭でも、お子さんの得意な部分や苦手な部分を確認し、今の学年で身に付けるべき力をしっかりと身に付けて進級できるようにしていただけたらと思います。

今回は、「国語力」を高めるための本校での取組を、いくつか紹介します。



音読・素読

どの学年も、朝の活動又は国語の時間で素読を行っています。また、ご家庭で毎日音読に取り組んでいると思います。

初めて読んだ時はたどたどしい文章も、繰り返し読むことでスムーズに読めるようになり、さらには自分の中に読んでいる言葉が定着します。このことで「語彙力」が高まります。

内容としては難しいものも、繰り返し読むことで音に慣れ、すらすら読めるようになってきています。語句の意味を追求するのではなく、言葉のもつ美しい響きやリズムを体感し、脳の前頭前野を活性化させることが期待できます。

ご家庭の音読も、毎日のことで大変だと思いますが、この積み重ねをきちんとすることで、文字に対する抵抗感がなくなり、「文章を読み取る力」や「語彙力」が高まることを期待できます。ご協力をよろしくお願いいたします。

音読では、各学年カード等を使用し取り組んでいますが、下記のようなことは学年を問わず意識して取り組みましょう。

- 姿勢を正して読む。
- 教科書をもって読む。
- 読点(、)や句点(。)を意識し、区切って読む。
- 物語文の「」の部分は、登場人物の気持ちによって読み方を変える。



スピーチ



国語だけでなく多くの教科や朝・帰りの活動では、みんなの前で発表やスピーチをする機会を設けています。これは、相手に分かりやすく説明することが大切で、発表する内容の順序や適切な言葉を選ぶ等、「文章を書く力」や「語彙力」が大切です。

発表の機会を多く設けること、自分と相手の考えの共通点や相違点を考えながら聞くことで、「話す力・聞く力」が高まることを期待できます。



読書



学校では、ブックタイムや読み聞かせ、国語の時間で教科書以外の本に触れる時間を設けています。今年度は読書祭りを年3回に増やしたり、ハートフルデーを設定したりする等、ご家庭でも本に触れる機会が増えたと思います。本をたくさん読むことで「文章を読み取る力」や「語彙力」が高まることを期待できます。

また、本は心の栄養です。情緒面にもよい影響を与えます。引き続きご家庭でもいろいろな本に触れあえるよう声かけをしたり、一緒に読んでみたりしてください。

【現在の図書室の本の貸し出し冊数(2/20現在)】⇒ 6127冊

昨年度より1.4倍UP↑



作文・日記

学校では、行事の終わりや国語の学習で、1年生からたくさんの文章を書きます。その際、発達段階に応じて、特に意識して書くようにしています。

○全学年共通

・学習したカタカナ、漢字を使って書く。 ・読む人の事を考えて、丁寧に書く。

○低学年

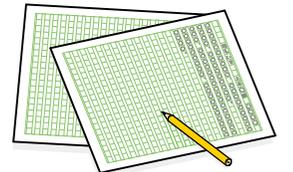
・「は」「へ」「を」を正しく使って書く。 ・会話文を「 」。を使って書く。
・拗音(「きゃ」等)、促音(「っ」といったつまる音)を正しく書く。
・読点(、)句点(。)を正しく使って書く。

○中学年

・接続詞(はじめに、つぎに、なぜかという、このように 等)を使って書く。
・段落(はじめ、中、おわり の3段落等)に分けて書く。
・自分が書いた文章を推敲する。

○高学年

・文章構成による効果を考えながら書く。
・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。
・事実と意見、感想を区別して書く。 ・決められた文字数に合わせて書く。



マイマイ学習で、日記を書く取組も推奨していますが、書くときは自分の学年で意識すべき点を念頭に置いて書くとさらに力を伸ばすことができます。素読や音読と同じように、繰り返し書くことで書くことに対する抵抗感がなくなり、「文章を書く力」が高まることを期待できます。

また、音読・素読や読書によって高めた「語彙力」を活用する場が作文や日記です。覚えた語彙を積極的に活用することで、読み手が分かりやすく、読みやすい文章を書くことができます。

学力向上通信 北小わかるステップ1・2・3

羽生北小学校 平成31年 3月18日発行

1年間のまとめをしましょう！

平成30年度もまもなく終わります。それぞれの学年の学習がほぼ終了し、復習を行います。本年度学んだことは本年度のうちに、しっかり力にして進級できるよう、最後まで取り組んでまいります。ご家庭でも復習をよろしくお願いいたします。

また、次年度使用する予定のノートのマスを紹介します。購入の際の参考にしてください。

～ノートのマス目について～

国語のノート

- 1年：12マス8行
- 2年：15マス10行
- 3年：18マス12行
- 4年：マスなし12行
- 5年：マスなし15行
- 6年：マスなし15行

漢字のノート

- 1年：10マス5行（埼玉県版低学年）
- 2年： //
- 3年：12マス7行（埼玉県版中学年）
- 4年： //
- 5年：15マス8行（埼玉県版高学年）
- 6年： //

算数・理科・社会のノート

- 1年：15mm方眼（最初の1冊は横版）
- 2年：12mm
- 3年：10mm
- ～（5mm方眼がなお良い）
- 6年： //

～つまづきの多かった問題（国語）～

学年	問題	正解	誤答例
1年	ひなが <u>う</u> まれる きゅう <u>けい</u> あし	生まれる 休けい 足	生れる 九けい
2年	風 <u>せん</u> 学校にか <u>よう</u>	船 通う	
3年	きそくを <u>さ</u> だめる <u>い</u> 者 入 <u>いん</u> する	定める 医 院	勝める はらっていない 員、
4年	会 <u>ぎ</u> 記 <u>ねん</u>	議 念	
5年	家ちくの <u>し</u> 料 <u>さ</u> からう 校 <u>そく</u>	飼 逆らう 則	資 逆う 測
6年	<u>じゅう</u> 断 <u>くら</u> す	縦 暮らす	従 暮す



同じ読み方をする漢字の間違えや、訓読みであれば分かるが、音読みで出題されていて分からないというもの、送り仮名間違えが多くありました。



～つまづきの多かった問題（算数）～

1年
赤い車が6だい、青い車が8だいあります。
ちがいはなんだいですか。
しき $8 - 6 = 2$ こたえ 2だい

1年
多いほうから少ない方をひいてちがいを求める問題だが、問題の順で書いたり、たし算をしてしまう。
誤答： $6 - 8 = 2$ $8 + 6 = 14$

2年
 $1\text{ cm} = 10\text{ mm}$
 $1\text{ L} = 1000\text{ mL}$

2年
単位換算の問題だが、正確に覚えられていない。

3年
10000を25こ集めた数は 250000
 $1\text{ kg} = 1000\text{ g}$
 $1 - \frac{5}{6} = \frac{1}{6}$

3年
誤答 25000 10000を20集めると20000を間違う。
 $1\text{ kg} = 1000\text{ g}$ 2年生と同じく単位換算がごちゃ混ぜになって覚えている。
今回は $-\frac{5}{6}$ なので、 $1 = \frac{6}{6}$ だが、それが捉えられない。

4年
4より0.01小さい数は 3.99
 0.72
25 18.0
17 5
5 0
5 0
0

4年
誤答 0.04 3.9 3.39 十進法の捉え方が混乱している。
 0.072
25 18 0
1 75
50
50
0
一の位に数が立たないときに0を付けるのを忘れてしまう。または、百の位に0をつけてしまう。

5年
 0.72
7.5 5.4
5 2 5
1 5 0
1 5 0
0
 $3\frac{1}{10} - 1\frac{5}{6} = \frac{31}{10} - \frac{11}{6} = \frac{93}{30} - \frac{55}{30} = \frac{38}{30} = \frac{19}{15}$

5年
 0.072
7.5 5.4
5 2 5
1 5 0
1 5 0
0
 $\frac{38}{30} = \frac{19}{15}$ になるが、約分を忘れてしまう。
小数点の打ち間違いが多い。わる数の小数点の移動にともない、わられる数も移動するのを忘れてしまう。

6年
 $1.4 \times 4.5 \div 0.7 = \frac{14}{10} \times \frac{45}{10} \div \frac{7}{10} = 9$
 $10 \times 10 \div 2 \times 3.14 \div 2 = 10 \times 10 \div 2 \times 3.14 = 50 \times 3.14 = 157$
0.0 6
60 3.6 0
3 6 0
0

6年 分数に直す際に間違えたり、 $\frac{14}{10} \times \frac{45}{10} \div \frac{7}{10}$ になった後、わり算をかけ算に直したり、約分したりするときに間違えてしまう。
 $10 \times 10 \div 2 \times 3.14$ と計算の順を直したり、計算の途中でミスをしてしまう。
誤答 0.6 小数点の移動がないが、移動させてしまう。